

締固め用機械を起因物（小）とする死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	業種 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	1	15～ 16	舗装修繕工事における交通整理業務中に、転圧作業を行っていたコンバインドローラー（4トン）が、後退時に警備員と接触し、右足をローラーの右後輪に轢かれ受傷した。	68	170201	7	1～ 9
2017	2	12～13	資材置場において重機（アスファルトフィニッシャー）を整備中、点検の為前に移動しようとした時、前方左側にいた負傷者に気付かず、右足をタイヤで踏み足の指を骨折させた。	68	170209	7	10～ 29
2017	3	15～16	道路の舗装工事に伴う交通整備作業を行っていた際、工事用のローラー車が後進してきたのに気付かず、ローラー車の後輪に右足を踏まれ転倒し負傷した。	65	170201	7	1～ 9
2017	4	15～ 16	資材置き場において、道具庫で機械用具の片付け（整理）作業をしているとき、たまたま立てて置いてあったランマ（転圧機：全高1000全長700全幅400mm質量70kg／約）の位置をずらすため、右隣なりに置いてあった発電機をずらしたところ、ランマのバランスが崩れて倒れかかった。このとき、とっさにランマを支えたが支えきれず倒れ、支えていた右手がランマと発電機の取っ手に挟まれて、甲の部分を負傷した。	27	30199	5	10～ 29
2017	6	14～ 15	一般住宅の敷地舗装工事において、舗装機械（フィニッシャー）の前進移動中、坂道から平坦な場所に変わる所で、誤って右足の指をフィニッシャーのバンパーと地面の間に挟まれ骨折した。	53	30202	7	10～ 29

2017	6	13~14	舗装工事現場で、1t振動ローラの積込作業をしている時に、振動ローラを4tユニック車に載せたところ、ローラの手輪をロックする前にエンジンを停止したため、振動ローラが後方へ逸走してしまった。その際、被災者はローラのハンドルを持ったまま止めようとしたが、そのままローラの後進が続き、4tユニック荷台の近くに停車していた3t振動ローラとの間に、右手小指を挟んでしまった。	20	30199	7	50 ~ 99
2017	7	11~12	道路改良工事に伴う舗装工事の施工中に作業員が後進してきた転圧機械に気づき退避しようとしたところ、既設舗装と路盤面の段差5cmにつまずき転圧機械に左足甲部が接触した。	65	30106	6	10 ~ 29
2017	7	11~12	道幅2m程の道路で舗装工事をしている道路にローラーをかけていた際に片側の壁に気をとられていて反対側の作業員に気がつかずまた作業員もローラーに背を向ける形で作業をしていると右足がローラーに踏まれてしまった。	21	30106	7	30 ~ 49
2017	7	15~16	アスコン敷均しの作業中、スコップで作業をしていた際に方向転換をしたところ、左足かかとが転圧作業中の振動ローラの右前軸と接触し、左靭帯を損傷した。	22	30309	3	1 ~ 9
2017	7	15~16	アスコン敷均しの作業中、スコップで作業をしていた際に方向転換をしたところ、左足かかとが転圧作業中の振動ローラの右前軸と接触し、左靭帯を損傷した。	22	30110	3	1 ~ 9
2017	7	11~12	振動ローラーで締固めの作業中、駆動輪が空転したので停止し、近くの人に手伝ってもらおうと思い降りようとしたが、地面が傾斜していたために空走し始めた。レバーが前進に入ったままだと勘違いし、慌ててレバー操作したとき、誤って前進方向に更に進行したため、身の危険を感じて飛び降りたところ、2.2m位の高さから落ちて石足を強打した。	39	30106	1	1 ~ 9
2017	10	16~17	工事現場のローラー作業が終了したので、事務所に運んできたローラーを片付ける作業をした。当社従業員が、後方にいた別の当社従業員に気付かずローラーをバックして右足を轢いてしまった。	48	30309	7	10 ~

			この事故で右腓骨骨折、右甲足骨骨折のケガを負った。					29
2017	11	14～ 15	施設内で、アスファルトフィニッシャー近くで合材の敷き均し作業をしていたところ、締め固めをしていた4tタンDEMローラーがバックしてきて、ローラーの後輪が被災者の右足に乗り上げてしまった。	55	30106	6	～	29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html